



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月26日

上場会社名 栄研化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4549 URL <http://www.eiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 寺本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 渡辺 裕之 TEL 03-5846-3379

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,121	0.8	1,643	4.0	1,703	8.4	921	0.6
23年3月期第2四半期	14,010	0.9	1,580	26.2	1,570	16.1	916	20.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 906百万円 (8.9%) 23年3月期第2四半期 832百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	50.76	50.53
23年3月期第2四半期	50.44	50.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	33,440	21,044	62.6	1,152.23
23年3月期	32,642	20,451	62.3	1,120.32

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,930百万円 23年3月期 20,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	18.00	30.00
24年3月期	—	12.00			
24年3月期(予想)			—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,610	0.2	2,210	△18.4	2,280	△17.8	1,080	△35.4	59.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規一社(社名) 、除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,770,719 株	23年3月期	21,770,719 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,605,197 株	23年3月期	3,605,174 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	18,165,539 株	23年3月期2Q	18,162,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先の東日本大震災及び福島第一原発事故によるサプライチェーンの混乱と電力供給不足、その後の消費者マインドの悪化を受け、企業活動及び個人消費は低調に推移いたしました。また、第2四半期後半には、米国経済の減速や欧州の信用不安に伴う円高傾向による業績不振懸念もあり、経済活動の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

臨床検査薬業界におきましては、昨年度の診療報酬の全体改定率がプラス0.19%と10年ぶりのプラス改定となりましたが、引き続き厳しい経営環境が続いており、各企業はより一層の経営の効率化と合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当社グループは、国内での主力製品の売上の拡大に努めるとともに、欧米諸国を中心に海外展開の拡大を図ってまいりました。第1四半期は、被災地域の医療機関の復旧の遅れや震災直後の一時的な需要の増加と在庫確保の動きの反動から製品全般で売上が落ち込みましたが、第2四半期に入ると全般的に復調し、震災の影響から遅れていた全国自治体のがん検診事業も徐々に再開してきております。

これらの結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間における売上高は141億21百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

製品の種類別区分ごとの売上高では、細菌学的検査用試薬は、食品関連従事者をはじめとした細菌検査用培地、薬剤感受性検査用試薬「ドライプレート「栄研」」の売上が伸びたものの、全体としては前期並みの、23億15百万円（同0.7%増）となりました。一般検査用試薬は、全自動尿分析装置用の専用試薬「ウロペーパーα」が堅調に推移した一方で、「ウロペーパー」は、全自動尿分析装置への切り替えもあり若干減少し、10億1百万円（同0.0%減）となりました。免疫血清学的検査用試薬は、東ソー株式会社から導入・販売しているAIA関連試薬が堅調に推移したことに加え、震災の影響により遅れていた大腸がん検診需要が戻ってきたこともあり、便潜血検査用試薬が伸びました。加えて、汎用自動分析装置用の免疫試薬である「LZテスト「栄研」シリーズ」がABC検診関連の試薬を中心に伸び、79億94百万円（同1.7%増）となりました。生化学的検査用試薬は、価格競争と分析装置の進歩による試薬使用量の減少の影響を受け、3億82百万円（同8.7%減）となりました。器具・食品環境関連培地は、価格競争と震災の影響から被災地域を中心に需要が減少したこともあり、11億95百万円（同3.3%減）となりました。その他（医療機器・遺伝子関連等）は、遺伝子関連製品の販売とLAMP法の特許料収入が貢献し、12億33百万円（同3.5%増）となりました。

海外向け売上高については、米国での便潜血検査用試薬の売上が伸長し、7億86百万円（同14.5%増）となりました。

費用面では、製造経費、ロスコスト・廃棄の削減を進め、売上原価率は前年同期比で0.3ポイント改善いたしました。また、販売費及び一般管理費については、全般的な経費の効率的な使用に努めました。

その結果、営業利益は16億43百万円（同4.0%増）、経常利益は17億3百万円（同8.4%増）、四半期純利益は9億21百万円（同0.6%増）となりました。四半期純利益につきましては、特別損失に東金工場の閉鎖に伴う固定資産の減損損失として2億6百万円を計上しております。

なお、王子事業所（東京都北区）につきまして、建物の老朽化・経営の効率化等の理由から、平成23年9月に売却契約を締結し、主に野木事業所に集約することといたしました。また、売却益（約1億10百万円）を、引き渡し・決済予定日（平成24年3月末）において特別利益に計上する予定であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は7億98百万円の増加、負債は2億5百万円の増加、純資産は5億93百万円増加いたしました。

自己資本比率は前連結会計年度末の62.3%から62.6%となりました。

増減の主なものとして、資産の部では、主に有形固定資産の取得により現金及び預金が7億44百万円の減少、売上の増加により受取手形及び売掛金が6億25百万円増加しております。有形固定資産においては、7億77百万円増加しております。これは、主に東金工場の閉鎖に伴い2億6百万円の減損損失の計上による減少と、野木事業所におけるオペレーションマネジメントセンター（事務棟・製造棟）建設着工10億47百万円の増加によるものであります。負債の部では、1年内返済予定の長期借入金から長期借入金への振替による増加2億36百万円と返済による減少50百万円により1億86百万円増加し、長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替により2億36百万円減少しております。純資産の部では、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が5億95百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年4月27日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,045	5,301
受取手形及び売掛金	8,547	9,173
商品及び製品	2,651	2,654
仕掛品	886	889
原材料及び貯蔵品	627	606
その他	1,437	1,600
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,195	20,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,924	12,743
減価償却累計額	△9,277	△9,443
建物及び構築物（純額）	3,646	3,300
機械装置及び運搬具	5,005	5,137
減価償却累計額	△4,325	△4,376
機械装置及び運搬具（純額）	679	761
工具、器具及び備品	2,904	2,928
減価償却累計額	△2,558	△2,632
工具、器具及び備品（純額）	346	296
土地	4,580	4,563
その他（純額）	399	1,509
有形固定資産合計	9,652	10,430
無形固定資産	380	359
投資その他の資産		
その他	2,419	2,431
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,413	2,424
固定資産合計	12,446	13,214
資産合計	32,642	33,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,614	5,614
1年内返済予定の長期借入金	286	472
未払法人税等	528	617
賞与引当金	651	661
返品調整引当金	5	4
災害損失引当金	10	1
資産除去債務	2	—
その他	2,307	2,411
流動負債合計	9,405	9,782
固定負債		
長期借入金	1,214	978
環境対策引当金	3	3
資産除去債務	28	30
その他	1,539	1,600
固定負債合計	2,785	2,613
負債合計	12,191	12,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,897	6,897
資本剰余金	7,892	7,892
利益剰余金	9,066	9,661
自己株式	△3,425	△3,425
株主資本合計	20,430	21,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	24
為替換算調整勘定	△91	△119
その他の包括利益累計額合計	△79	△95
新株予約権	99	113
純資産合計	20,451	21,044
負債純資産合計	32,642	33,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	14,010	14,121
売上原価	8,084	8,112
売上総利益	5,926	6,008
販売費及び一般管理費	4,345	4,365
営業利益	1,580	1,643
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	5
受取賃貸料	6	69
その他	22	22
営業外収益合計	32	99
営業外費用		
支払利息	3	12
為替差損	34	21
その他	4	5
営業外費用合計	42	40
経常利益	1,570	1,703
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
貸倒引当金戻入額	0	—
投資有価証券受贈益	14	—
特別利益合計	19	—
特別損失		
固定資産除売却損	10	3
減損損失	—	206
投資有価証券評価損	37	3
その他	14	—
特別損失合計	61	214
税金等調整前四半期純利益	1,528	1,488
法人税等	612	566
少数株主損益調整前四半期純利益	916	921
少数株主利益	—	—
四半期純利益	916	921

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	916	921
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△25	12
為替換算調整勘定	△58	△28
その他の包括利益合計	△84	△15
四半期包括利益	832	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	832	906
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

当社グループは、検査薬事業のみの単一セグメントとなるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

当社グループは、検査薬事業のみの単一セグメントとなるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。